

# 文教警察企業常任委員会資料

令和5年5月25日

宮崎県警察本部

<b>1</b>	<b>幹部職員名簿</b>	
(1)	警察本部長、各部長等	3
(2)	各所属長	4 - 5
<b>2</b>	<b>宮崎県警察の組織</b>	6
<b>3</b>	<b>宮崎県公安委員会</b>	7
<b>4</b>	<b>警察本部各部の主な所掌事務</b>	8
<b>5</b>	<b>令和5年運営方針・運営重点</b>	9
<b>6</b>	<b>警察予算の内訳</b>	10
<b>7</b>	<b>令和5年度当初予算</b>	11 - 12
<b>8</b>	<b>治安情勢等</b>	
(1)	犯罪情勢	13
(2)	交通事故情勢	14
(3)	警護情勢、G7宮崎農業大臣会合警備	15

# 1 宮崎県警察幹部職員名簿

## 警察本部長、各部長等

職 名	階 級	氏 名	
警察本部長	警視長	やまもと まさゆき 山本 将之	*
警務部長	警視正	くろかわ きよひこ 黒川 清彦	*
生活安全部長	警視正	むかえ しゅうじ 迎 修二	*
刑事部長	警視正	みはら たけし 三原 健	*
交通部長	警視正	ゆあさ はるゆき 湯浅 晴之	*
警備部長	警視正	くるめ ひでき 久留米 英樹	*
警務部参事官兼首席監察官	警視正	やまさき たけし 山崎 猛	*
警察学校長	警視	いのうえ やすし 井上 保志	

常任委員会執行部・・・\*

# 1 宮崎県警察幹部職員名簿

## 各所属長

警 務 部			生活安全部			刑 事 部		
総務課長	杉村 昌俊	*	生活安全少年課長 (生活安全部参事官)	室屋 利春	*	刑事企画課長 (刑事部参事官)	三木 健次	
県民広報課長	佐藤 和利		人身安全対策課長	戸松 俊二		捜査第一課長	中武 泰博	
会計課長 (警務部参事官)	黒木 真二	*	地域課長 (生活安全部参事官)	中山 貴樹		捜査第二課長	澤田 信也	
施設装備課長	牧野 英幸		通信指令課長	松迫 博		組織犯罪対策課長	坂元 隆志	
情報管理課長	木下 健一		生活環境課長	田中 宏光	*	鑑識課長	上田 宏文	
総合管理課長 (警務部参事官)	神村 守人	*	サイバー犯罪対策課長	小野 哲也	*	科学捜査研究所長	岩元 真史	
警務課長 (警務部参事官)	日高 貴	*						
監察課長	柳田 憲一							
人財育成課長	井上 司							
厚生課長	溝邊 正人							

常任委員会執行部・・・\*

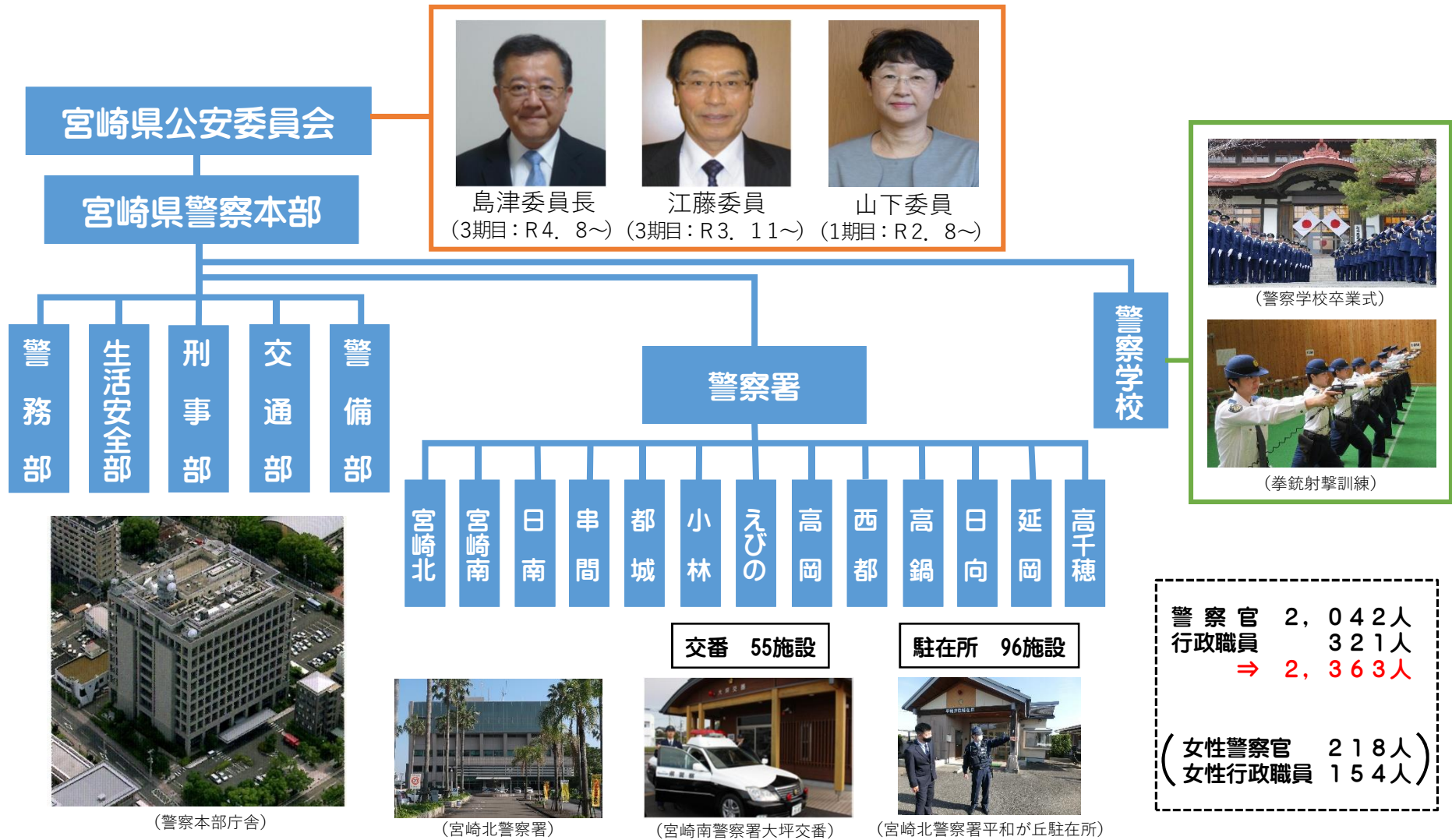
# 1 宮崎県警察幹部職員名簿

## 各所属長

交 通 部			警 備 部			警 察 署		
交通企画課長 (交通部参事官)	河野 禎治		警備第一課長 (警備部参事官)	河野 博之		宮崎北警察署長	日高 俊治	
交通指導課長	垂水 保樹		警備第二課長	竹内 賢次		宮崎南警察署長	日高 重徳	
交通規制課長	岩田 浩幸	*	外事課長	郷之原 実		日南警察署長	橋元 裕明	
運転免許課長	池田 健二	*	機動隊長	甲斐 淳一		串間警察署長	福永 勉	
交通機動隊長	佐藤 勝重					都城警察署長	廣田 匡慶	
高速道路 交通警察隊長	後藤 泰三					小林警察署長	甲斐 義勝	
						えびの警察署長	横山 良人	
						高岡警察署長	奥野 仁	
						西都警察署長	上野 健司	
						高鍋警察署長	水口 圭二	
						日向警察署長	梅原 守	
						延岡警察署長	黒瀬 信太郎	
						高千穂警察署長	川越 直海	

常任委員会執行部・・・\*

## 2 宮崎県警察の組織



## 3 宮崎県公安委員会

### 公安委員会制度

公安委員会制度は、国民の良識を代表する者によって構成される合議制の機関が警察の管理を行うことで、警察の民主的運営と政治的中立性を確保することを目的として、警察法に基づき設けられている。

また、同法に基づき、国については国家公安委員会を置いて警察庁を管理し、都道府県については都道府県公安委員会を置いて都道府県警察を管理することとされている。

### 組織

宮崎県（都、道、府及び指定県では5人）は3人の非常勤の委員によって組織されており、委員は知事が議会の同意を得て任命している。

### 公安委員の任務

#### ○ 公安委員会の権限

都道府県公安委員会は、法律の規定に基づき、風俗営業、運転免許、交通規制、犯罪被害者等給付金の裁定、古物営業等の各種営業の監督等国民生活に関わりのある数多くの行政事務を処理している。

#### ○ 監察の指示等

警察法第43条の2の規定により、都道府県公安委員会は、必要があると認める場合には、都道府県警察に対して、監察に関する指示を具体的・個別的なものとすることができるとされている。

都道府県警察による監察で講じた措置が十分でない認められる際には、警察を第三者的立場から監督する機関である公安委員会が、具体的又は個別的に監察に指示を行うことにより、警察に所要の監察を実施させることができるようにしたものである。

#### ○ 公安委員会に対する苦情申出制度

警察法第79条の規定により、警察職員の職務執行について苦情がある者は、公安委員会に対し、国家公安委員会規則で定める手続に従い、文書により苦情の申出をすることができることとされている。

## 4 警察本部各部の主な所掌事務

<p><b>警 務 部</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報に関すること。</li> <li>○ 予算、決算及び会計に関すること。</li> <li>○ 人事、定員、給与及び警察装備に関すること。</li> <li>○ 監察に関すること。</li> <li>○ 警察教養に関すること。</li> <li>○ 福利厚生に関すること。</li> </ul>
<p><b>生活安全部</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪、事故その他の事案に係る市民生活の安全と平穏に関すること。</li> <li>○ 少年の非行防止に関すること。</li> <li>○ ストーカー、DV対策に関すること。</li> <li>○ 地域警察に関すること。</li> <li>○ 110番通報等の緊急通報の受理に関すること。</li> <li>○ 風俗営業、質屋営業、古物営業等の許可等及び指導取締りに関すること。</li> </ul>
<p><b>刑 事 部</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 凶悪犯（殺人、強盗など）、粗暴犯（暴行、傷害など）、窃盗犯の捜査に関すること。</li> <li>○ 偽造、贈収賄、詐欺、背任、横領その他の知的犯罪の捜査に関すること。</li> <li>○ 暴力団等に係る犯罪の取締りに関すること。</li> <li>○ 麻薬、覚醒剤その他の薬物に関する取締りに関すること。</li> <li>○ 犯罪鑑識及び科学捜査の研究に関すること。</li> </ul>
<p><b>交 通 部</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通安全教育及び地域交通安全活動に関すること。</li> <li>○ 道路交通関係法令違反の指導取締りに関すること。</li> <li>○ 交通事件及び交通事故に係る犯罪の捜査に関すること。</li> <li>○ 交通安全施設の整備及び管理に関すること。</li> <li>○ 運転免許に関すること。</li> </ul>
<p><b>警 備 部</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害警備に関すること。</li> <li>○ 警衛・警護に関すること。</li> <li>○ 警備犯罪の取締りに関すること。</li> <li>○ 国際テロリズムその他外国人に係る警備犯罪の取締りに関すること。</li> </ul>



## 運営方針

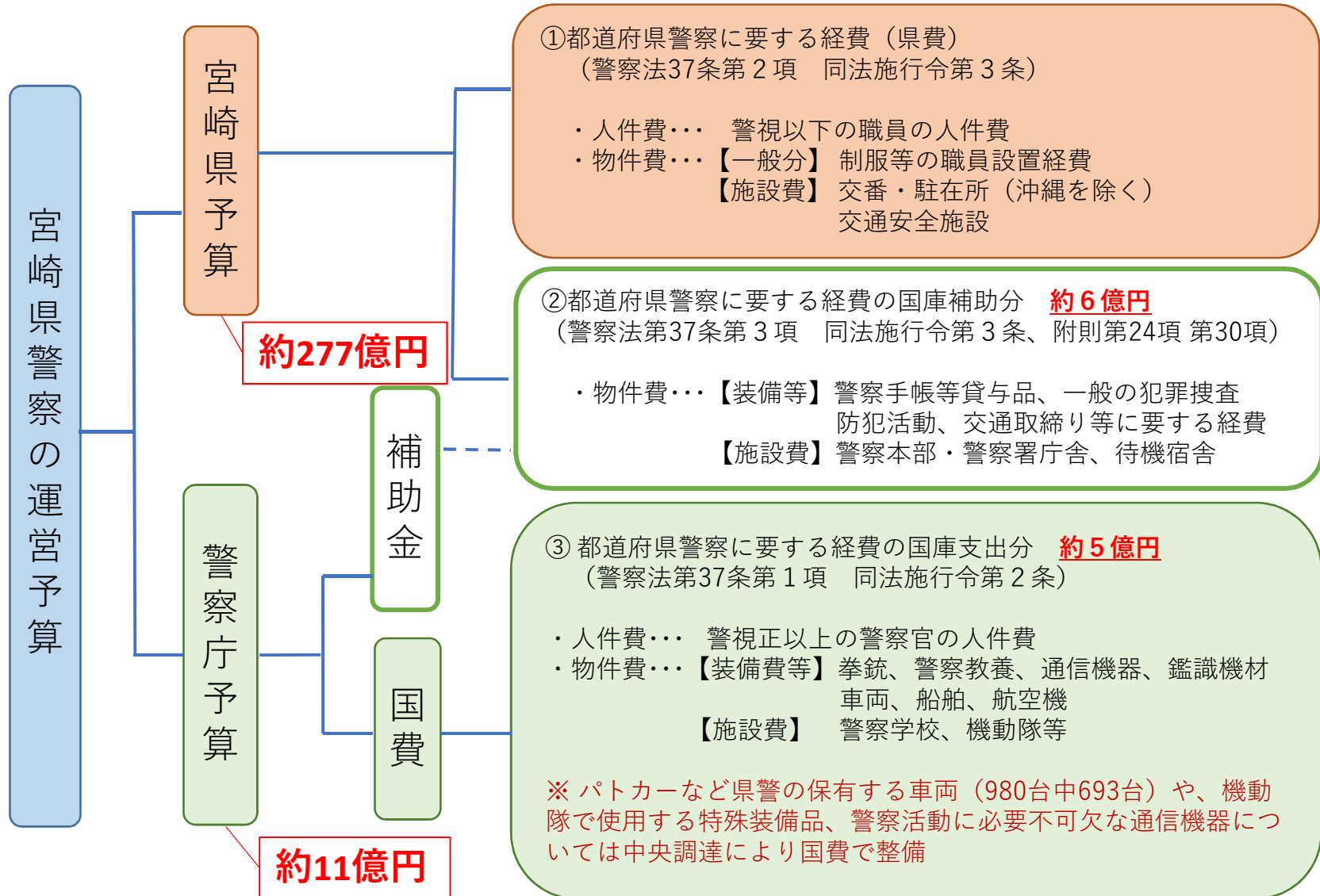
# 県民の期待と信頼に応える強くしなやかな警察

～安全で安心な宮崎をめざして～

## 運営重点

- 子供・女性・高齢者を守る取組と効果的な犯罪防止対策の推進
- 重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進
- 交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現
- 警護の万全と災害、テロ等緊急事態への的確な対処
- 県民の立場に立った警察活動の推進と社会の変化に適応する警察  
基盤の整備
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進
- G7宮崎農業大臣会合等の開催に伴う警備諸対策の推進

## 6 警察予算の内訳



## 7 令和5年度当初予算（宮崎県の支出する予算）

### 概要

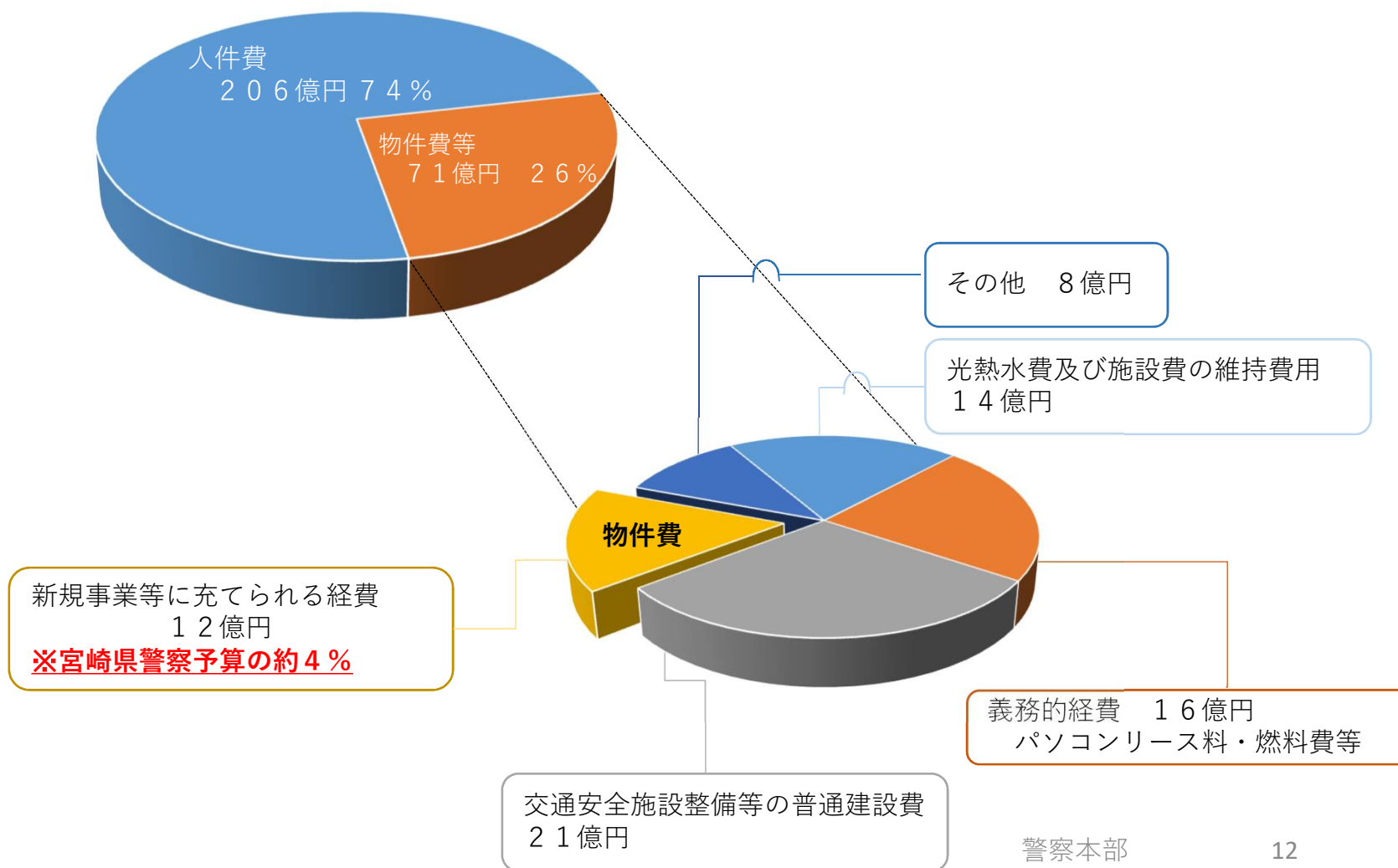
区分	令和5年度当初	令和4年度当初	増 減
総 額	277億7,118万3千円	270億8,875万2千円	+ 6億8,243万1千円 (+2.5%)
人件費	206億1,346万6千円	202億3,861万9千円	+ 3億7,484万7千円 (+1.8%)
物件費	71億5,771万7千円	68億5,013万3千円	+ 3億 758万4千円 (+4.4%)

### 令和5年運営方針に係る予算

○子供・女性・高齢者を守る取組と効果的な犯罪防止対策の推進	・ ・ ・ ・	1億9, 995万8千円
○重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進	・ ・ ・ ・	2億1, 136万4千円
○交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現	・ ・ ・ ・	17億4, 792万8千円
○警護の万全と災害、テロ等緊急事態への的確な対処	・ ・ ・ ・	1, 303万7千円
○県民の立場に立った警察活動の推進と社会の変化に適応する 警察基盤の整備	・ ・ ・ ・	1億 923万9千円
○サイバー空間の脅威に対する総合施策の推進	・ ・ ・ ・	1, 591万2千円
○G7宮崎農業大臣会合等の開催に伴う警備諸対策の推進	・ ・ ・ ・	1億 58万1千円

## 7 令和5年度当初予算 (宮崎県の支出する予算)

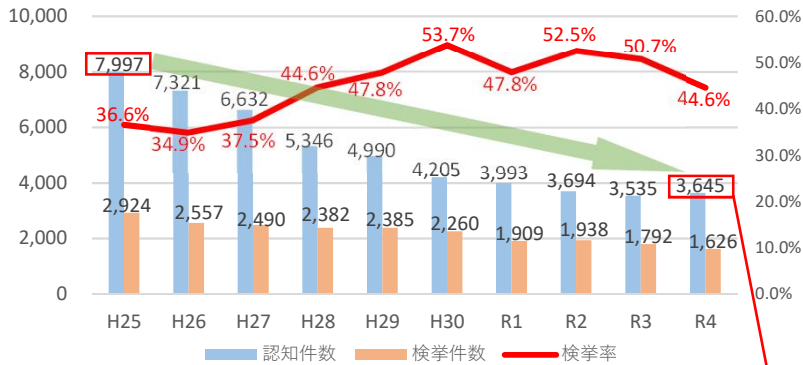
宮崎県警察予算 277億円



# 8 治安情勢等

## 犯罪情勢

刑法犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移



### 令和4年の主な情勢

- ・ 認知件数はH25の半分程度まで減少
- ・ 11年振りに増加傾向

### 特殊詐欺対策

被害件数：52件（+25件）

被害額：1億3,628万円（+7,288万円）

#### 【主な被害手口】

- 架空請求詐欺 ～ 38件（1億2,341万円）
- 還付金詐欺 ～ 9件（991万円）

#### 検挙対策

- ・ 「だまされた振り作戦」の積極的実施
- ・ 口座不正売買等の助長犯罪の徹底検挙
- ・ アポ発生時の初動捜査と先制的職務質問の実施

#### 抑止対策

- ・ うそ電話詐欺被害防止コールセンター事業の実施
- ・ 自動通話録音機の貸出し（457台配備）



【自動通話録音機】

#### 水際対策

- ・ 金融機関、コンビニ等との連携
- ・ 積極的な感謝状贈呈



【感謝状贈呈式】

## 人身安全関連事案対策

### 人身安全関連事案とは

ストーカー・DV事案等は、恋愛感情のもつれや家庭内で発生する事案であり、被害の実態がつかみづらいことや、加害者の被害者に対する執着心等が強いものが多く、事態が急展開して殺人等の重大事件に発展するおそれが高く、迅速・的確な対応が求められる事案

#### ストーカー相談

全国2位（令和4年）

445件

※人口10万人当たり件数

#### DV相談

全国6位（令和4年）

890件

※人口10万人当たり件数

#### 児童虐待

平成29年以降、通告件数が急増

DV事案による関連認知（面前DV）



令和5年春に人身安全関連事案対応を一元的に行う

### 生活安全部人身安全対策課

を設置

## 自転車盗対策

被害件数：983件（+196件）

無施錠被害率：73.2%

### 被害防止対策

- ・ 自転車盗難防止モデル校制度による啓発活動を実施（県内指定状況：中学校24校、高校23校）
- ・ 県教育委員会と連携し、発生が多い駐輪場等を中心とした自転車の施錠状況を点検し、無施錠自転車については学校に連絡するなどして生徒への指導を実施



【モデル校指定書交付式】

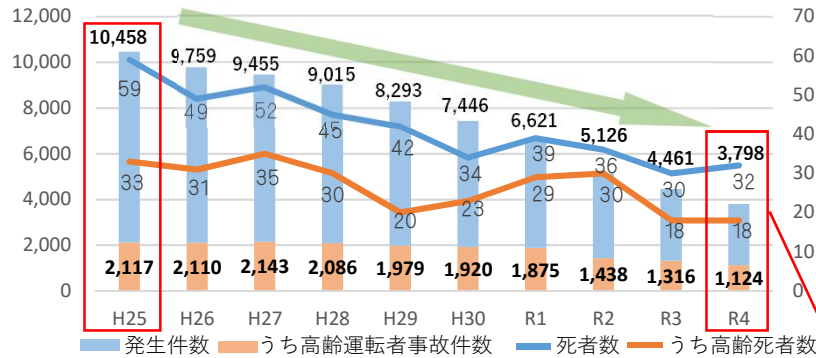


【駐輪場における施錠状況点検】

# 8 治安情勢等

## 交通事故情勢

交通事故発生件数・死者数の推移



### 令和4年の主な情勢

#### 交通死亡事故

歩行中死者数	年代別死者	高齢運転者死亡事故件数	飲酒運転死者数
14人(43.8%) うち高齢者10人	高齢者: 18人(56.3%) 40歳代: 6人(18.8%)	11件(+5件)	4人(±0件)

#### 交通人身事故

発生場所	第1当事者の年代	事故原因
交差点及びその付近 1,846件(48.6%)	高齢者: 1,130件(29.8%) 20歳代: 668件(18.1%)	脇見、安全不確認等 2,844件(74.9%)

- ・ 死者数は過去3番目に低く、H25の半分程度まで減少
- ・ 発生件数はH25の4割程度まで減少

## 交通事故防止対策

### 歩行者保護対策

#### 横断歩道の整備

- ・ 横断歩道重点対策として、摩耗度の高い横断歩道等を重点に105km(前年比+29km)の補修更新を実施
- ・ 令和5年度も継続更新予定



#### モデル横断歩道のカラー化

- ・ 過去に横断中歩行者の事故が発生した横断歩道や、通学路で信号機のない横断歩道など、県内27カ所を「モデル横断歩道」に指定
- ・ 横断歩道における交通ルール遵守とマナー向上を目的として、横断歩道の周囲を赤色で塗装



#### 反射材配布

- ・ 夜間の歩行中死者の割合が高いという事故実態を踏まえ、高齢者を中心として反射材配布の取組を強化
- ・ 令和4年中の配布数 約2万8,000個



### 高齢運転者対策

#### 制限運転の周知

- ・ 制限運転とは、運転者が自身の体調や運動能力を踏まえ、運転の時間帯や場所等を限定する旨、宣誓する取組(令和元年～)
- ・ 免許センターや警察署のほか、市町村の窓口においても受付を実施
- ・ 受付人数 ~ 6,097人(取組開始から令和4年末までの累計)

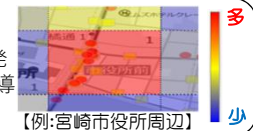
#### 運転免許自主返納制度の周知

- ・ 安全運転相談の窓口において、高齢運転者に対して、加齢に伴う身体機能の低下を踏まえた安全運転の継続に必要な助言・指導や、自主返納制度及び自主返納者に対する支援施策の教示を実施
- ・ 窓口に見護師等の資格を持つ専門職員4名を配置し、相談受理体制を強化

### その他対策

#### 事故多発地点対策

GIS(地理情報システム)により事故多発地点を抽出し、事故実態を踏まえた交通指導取締りを実施



## 8 治安情勢等

### 警護情勢

#### 主な情勢

令和4年7月8日 安倍元総理大臣銃撃事件発生

8月26日 新たな警護要則を策定

- ・警察庁による情報収集や危険度の分析、警護計画作成への関与
- ・都道府県警察は警察庁に警護の計画案や実施結果を報告
- ・警護体制の強化、警視庁への道府県警の研修派遣の拡充
- ・体系的な訓練計画の作成、装備資機材の充実

令和5年4月15日 岸田総理大臣の選挙演説会場における爆発物投てき事案発生

#### 主な警護訓練状況

##### 警護実践塾

令和4年10月18日 アミュプラザみやざき「うみ館」前広場ほか

##### 実技訓練



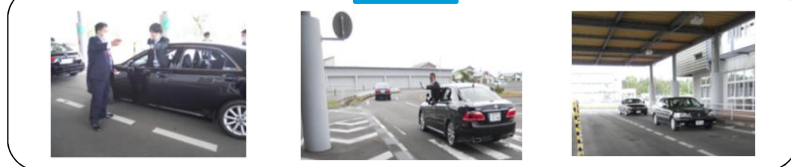
##### 検討会



##### G7 宮崎農業大臣会合に向けた事前訓練

令和5年4月20日 運転免許試験場

##### 実技訓練



### G7 宮崎農業大臣会合警備

#### 開催概要

開催日時 令和5年4月22日（土）～4月23日（日）

#### 関係先



#### 警戒警備実施状況

##### 検問



##### 検索



##### 警護・警戒

